

経営比較分析表（令和4年度決算）

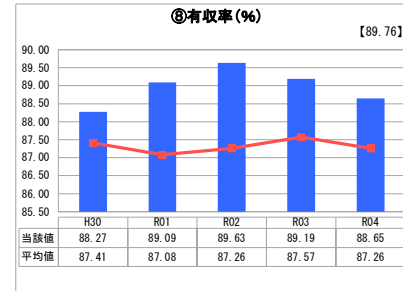
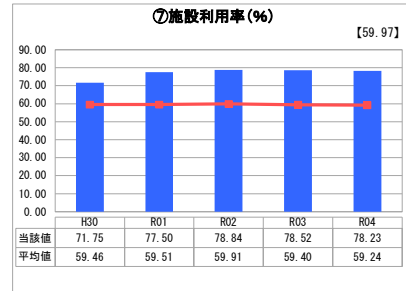
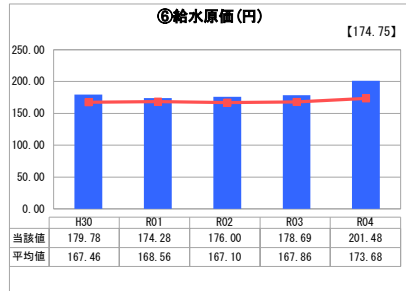
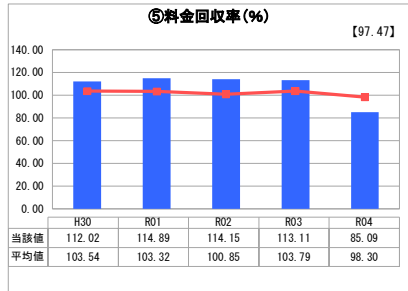
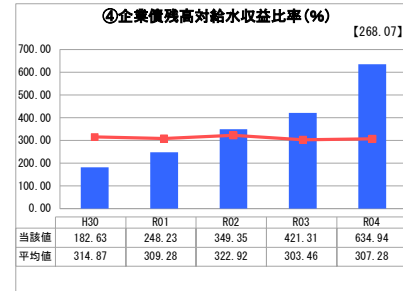
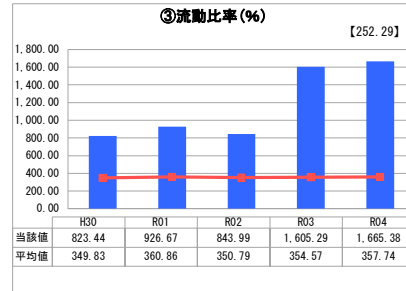
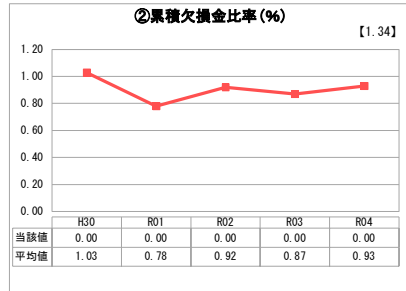
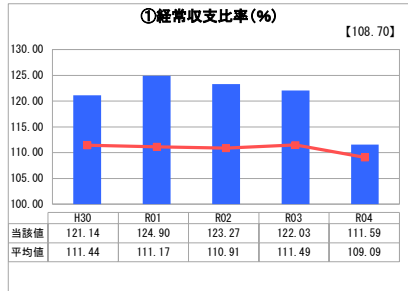
茨城県 那珂市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	61.48	98.64	3,680	

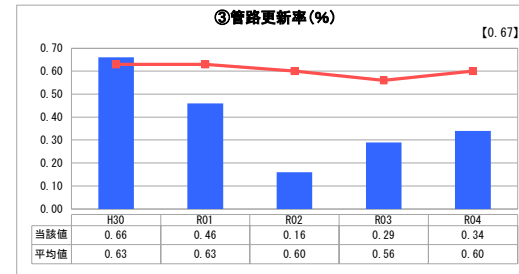
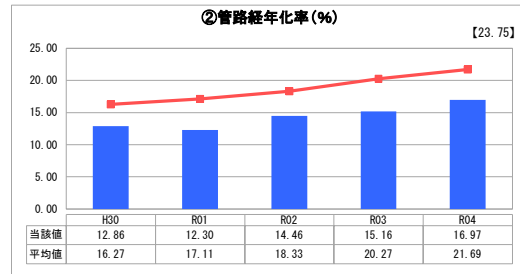
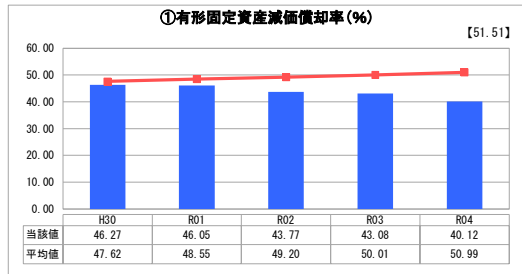
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
53,839	97.82	550.39
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
52,952	96.99	545.95

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は、有収水量の減少に伴う給水収益の減少及び管路更新や瓜連浄水場の機能廃止などに伴う固定資産除却費の増加等により費用が増えたため、前年度の値を下回ったが、100%を上回っている。
- ② 累積欠損比率は発生せず、健全な経営状況と言える。
- ③ 流動化率は100%以上を維持しており、支払能力は十分であるが、企業債償還が増加しているため、今後は低下していくと考えられる。
- ④ 企業債残高対給水収益比率は、浄水場の更新工事により借入額が増え、今後も類似団体平均より上回ると推察できる。企業債の借入れをせざるを得ないため、計画的に借入額を設定するよう精査していく必要がある。
- ⑤ 料金回収率は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した水道料金の減免措置を行ったことにより大きく低下した。なお、交付金により全額充当されたため、経営に影響は出ていない。
- ⑥ 給水原価は、管路更新や瓜連浄水場廃止による固定資産除却による減耗費の増加により上昇した。次年度は従来の値程度に回復すると推測している。
- ⑦ 施設利用率は、類似団体平均を上回っており、適切な施設規模と言える。
- ⑧ 有収率は、類似団体平均を上回っており、施設の稼働状況が収益に反映されている。今後も漏水調査等を通し、無効水量減少に努めていく。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率は、浄水場の更新工事等により低下しており、類似団体の平均を下回っているため、施設等の更新が進んでいると言える。
- ② 管路経年率は、計画的な更新により、類似団体平均を下回っている。
- ③ 管路更新率は、類似団体平均を下回っているが、これは重要拠点や漏水調査を基にコストが高い主要配水管を優先的に更新しているためである。

全体総括

令和4年度に「那珂市水道事業経営戦略」の見直しを行った。現在の経営指標については、健全な経営状況と判断するが、今後、老朽化施設の更新や少子高齢化による水需要減少が懸念され、加えて管路更新費用等の増加が見込まれることから、経営戦略に沿って計画的な事業運営を行っていく必要がある。